

障害福祉サービスの利用

1 サービスの全体像

障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律(以下「障害者総合支援法」といいます。)によるサービスと児童福祉法によるサービスで構成されています。

障害者総合支援法

自立支援給付

介護給付

- ・居宅介護(ホームヘルプ) P26
- ・重度訪問介護 P26
- ・行動援護 P26 ・同行援護 P26
- ・短期入所(ショートステイ) P28、130
- ・重度障害者等包括支援
- ・生活介護 P27 ・療養介護 P29
- ・施設入所支援 P28、110

訓練等給付

- ・自立訓練(機能・生活訓練) P27
- ・就労移行支援、就労継続支援 P27
- ・就労定着支援 P27
- ・共同生活援助 P28
- ・自立生活援助 P29

計画相談支援給付

- ・サービス利用支援
- ・継続サービス利用支援

地域相談支援給付

- ・地域移行支援、地域定着支援

補装具 P31

自立支援医療 P66

- ・精神通院医療、更生医療
- ・育成医療

地域生活支援事業

- ・相談支援 P15
- ・意思疎通支援 P30
- ・移動支援 P30
- ・日常生活用具給付又は貸与 P32
- ・地域活動支援センター P128
- ・福祉ホーム P129

など

児童福祉法

障害児通所支援給付

- ・児童発達支援 P100、101
- ・医療型児童発達支援
- ・居宅訪問型児童発達支援
- ・放課後等デイサービス P101
- ・保育所等訪問支援 P109

障害児入所支援給付

- ・福祉型障害児入所支援 P99
- ・医療型障害児入所支援 P99

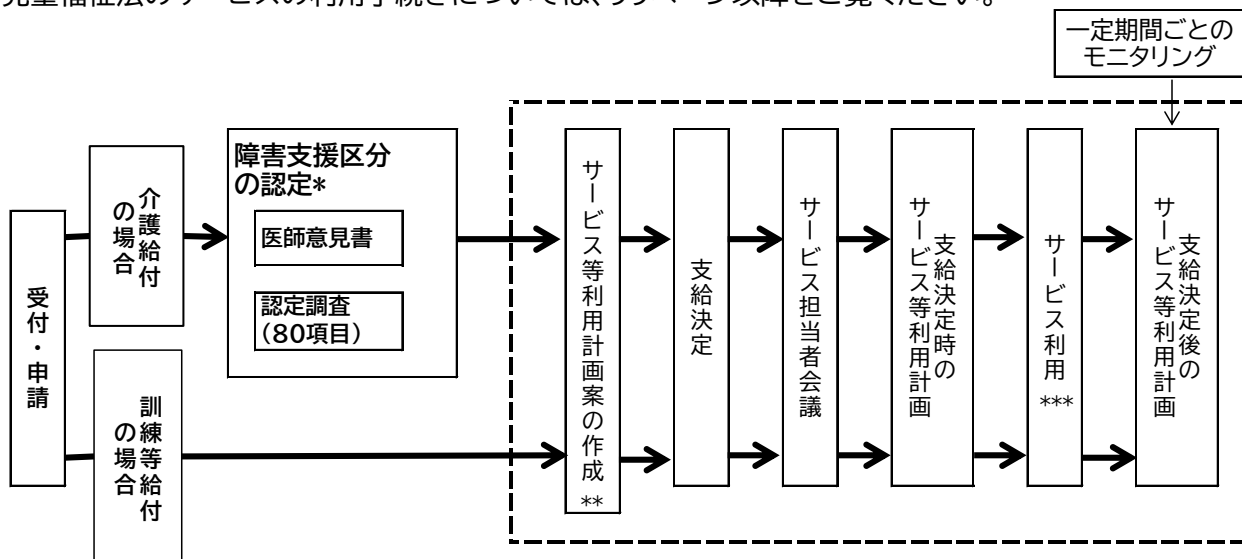
障害児相談支援給付

- ・障害児支援利用援助
- ・継続障害児支援利用援助

2 障害福祉サービスの利用手続き

障害福祉サービスの利用を希望する方は、区役所・宮城総合支所障害高齢課で利用申請を行います。申請の後、下記のような手順で支給決定され利用開始となります。

児童福祉法のサービスの利用手続きについては、99ページ以降をご覧ください。



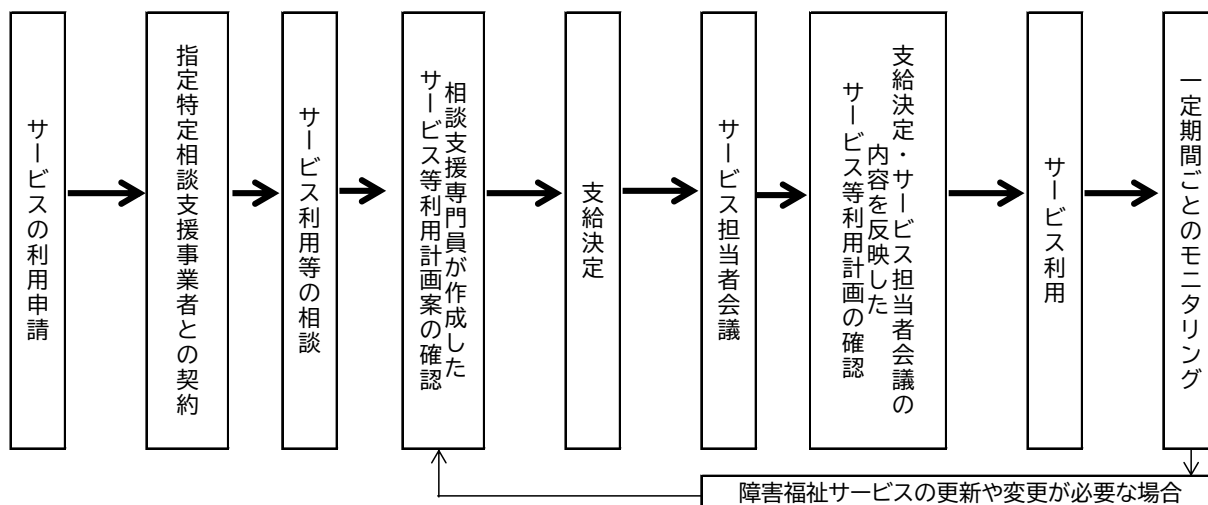
* 障害支援区分とは、障害の多様な特性や心身の状態に応じて必要とされる標準的な支援の度合いを表す区分(非該当、区分1～6:区分6の方が必要とされる度合いが高い)です。障害児の場合は障害支援区分の認定を必要としません。

** 障害福祉サービスを利用する全ての方を対象に、指定特定相談支援事業所の相談支援専門員が作成します。指定特定相談支援事業所については「施設」のページをご覧ください。ご本人等が作成するセルフプランを提出することもできます。

*** 事業所との利用契約、事業所の個別支援計画の作成が必要です。

3 計画相談支援の流れ

計画相談支援は、利用者の方の状況の変化に応じて、課題の解決や適切なサービスの利用を継続的に支援することを目的としています。サービス等利用計画は、指定特定相談支援事業所の相談支援専門員が作成します。利用者の費用負担はありません。



4 利用者負担等について

(1) 利用者負担について

① 負担上限月額の設定

障害福祉サービスの利用者負担は、収入や市町村民税所得割額に応じて次の4区分の負担上限月額が設定され、ひと月に利用したサービス量にかかわらず、それ以上の負担は生じません。

ア 障害者の利用者負担

区分	世帯の収入状況	負担上限月額
生活保護	生活保護受給世帯	0円
低所得	市町村民税非課税世帯	0円
一般1	市町村民税課税世帯(所得割16万円未満) ※ 入所施設利用者(20歳以上)、グループホーム利用者 を除きます。	9,300円
一般2	上記以外	37,200円

イ 障害児の利用者負担

区分	世帯の収入状況	負担上限月額
生活保護	生活保護受給世帯	0円
低所得	市町村民税非課税世帯	0円
一般1	市町村民税課税世帯 (所得割28万円未満)	通所施設 ホームヘルプ利用の場合 4,600円 入所施設利用の場合 9,300円
一般2	上記以外	37,200円

※ 4月1日時点で満3歳となった児童が就学するまでの間、障害児通所支援給付及び障害児入所支援給付(医療部分を除く)を利用する場合、利用料は無料となります。

●所得を判断する際の世帯の範囲

種別	世帯の範囲
18歳以上の障害者(施設に入所する18、19歳を除く)	障害のある方とその配偶者
障害児(施設に入所する18、19歳を含む)	保護者の属する住民基本台帳での世帯

② 高額障害福祉サービス等給付費

同じ世帯で他にも障害福祉サービスを利用している方がいる場合や、補装具、児童福祉法に基づくサービス及び介護保険などの複数のサービスを利用している方について、その複数の利用者負担額の合計額が一定の基準額を超えた場合に、その超えた額を償還します。

また、一定の障害福祉サービス(居宅介護、重度訪問介護、生活介護、短期入所)を5年以上継続して利用していた非課税世帯に属する障害支援区分2以上の方が、65歳を迎えてから介護保険のサービスの利用を開始した場合、対象となる介護保険のサービス(訪問介護、通所介護、地域密着型通所介護、短期入所生活介護、小規模多機能型居宅介護)の自己負担相当額を償還します。

(2) 実費負担について

入所施設における食費、光熱水費、医療費及び日用品費、通所サービス等における食費は自己負担となります。ただし、収入に応じて減免があります。

入所施設の実費負担減免

低所得者の場合、利用者負担額と実費負担額を支払っても、収入のうち一定額が手元に残るよう減免します。

通所サービスなどの食費軽減

生活保護、市民税非課税及び市民税所得割が16万円未満の世帯の方について負担を軽減します。

○障害福祉サービス等の対象となる難病等366疾病（50音順）

あ	アイカルティ症候群	か	加齢黄斑変性	こ	広範脊柱管狭窄症
	アイザックス症候群		肝型糖尿病		膠様滴状角膜ジストロフィー
	IgA腎症		間質性膀胱炎（ハンナ型）		抗リン脂質抗体症候群
	IgG4関連疾患		環状20番染色体症候群		コケイン症候群
	亜急性硬化性全脳炎	関節リウマチ	コステロ症候群		
	アジソン病	完全大血管転位症	骨形成不全症		
	アッシャー症候群	眼皮皚白皮症	骨髄異形成症候群		
	アトピー性腎臓炎	偽性副甲状腺機能低下症	骨髄線維症		
	アペール症候群	ギャロウェイ・モフト症候群	ゴナドトロピン分泌亢進症		
	アミロイドーシス	急性壊死性脳症	5p欠失症候群		
	アラジール症候群	急性網膜壊死	コフィン・シリス症候群		
	アルポート症候群	球腎髄性筋萎縮症	コフィン・ローリー症候群		
	アレキサンダー病	急速進行性糸球体腎炎	混合性結合組織病		
	アンジェルマン症候群	強直性脊椎炎	鱧耳腎症候群		
アントレー・ピクスラー症候群	巨細胞性動脈炎	再生不良性貧血			
い	イソ吉草酸血症	き	巨大静脈奇形 （頸部口腔咽頭びまん性病変）	さ	サイトメガロウィルス角膜内皮炎
	一次性ネフローゼ症候群		巨大動脈奇形 （頸部顔面又は四肢病変）		再発性多発軟骨炎
	一次性膜性増殖性糸球体腎炎		巨大膀胱短小結腸腸管蠕動不全症		左心低形成症候群
	1p36欠失症候群		巨大リンパ管奇形（頸部顔面病変）		サルコイドーシス
	遺伝性自己炎症疾患		筋萎縮性側索硬化症		三尖弁閉鎖症
	遺伝性ジストニア		筋型糖尿病		三頭筋素欠損症
	遺伝性周期性四肢麻痺		筋ジストロフィー		CFC症候群
	遺伝性腓炎		クッシング病		シェーグレン症候群
遺伝性鉄芽球性貧血	クリオプリン関連周期熱症候群	色素性乾皮症			
う	VATER症候群	く	クリオピリン関連周期熱症候群	し	自己食空胞性ミオパチー
	ウィーバー症候群		クリッペル・トレノナー ・ウェーバー症候群		自己免疫性肝炎
	ウィリアムズ症候群		クルーゾン症候群		自己免疫性後天性凝固因子欠血症 ※
	ウィルソン病		グルコーストランスポーター 1欠損症		自己免疫性溶血性貧血
	ウエスト症候群		グルタル酸血症1型		四肢形成不全
	ウェルナー症候群		グルタル酸血症2型		シトステロール血症
	ウォルフラム症候群		クロウ・深瀬症候群		シトリン欠損症
	ウルリッヒ病		クローン病		紫斑病性腎炎
え	HTLV-1関連脊髄症	け	クローンカイト・カナダ症候群	す	脂肪萎縮症
	ATR-X症候群		痙攣重積型（二相性）急性脳症		脂溶性性関節炎
	ADH分泌異常症		結節性硬化症		若年性肺気腫
	エーラス・ダンロス症候群		結節性多発動脈炎		シャルコー・マリー・トゥース病
	エプスタイン症候群		血栓性血小板減少性紫斑病		重症筋無力症
	エプスタイン病		限局性皮質異形成		修正大血管転位症
	エマヌエル症候群		原発性局所多汗症		修正大血管転位症
	遠位型ミオパチー		原発性硬化性胆管炎		シュベール症候群関連疾患
お	円錐角膜	こ	原発性高脂血症	せ	シュワルツ・マンベル症候群
	黄色靭帯骨化症		原発性高脂血症		徐波睡眠期持続性棘徐波を 示すてんかん性脳症
	黄斑ジストロフィー		原発性側索硬化症		神経細胞移動異常症
	大田原症候群		原発性胆汁性胆管炎		神経軸索スフェロイド形成を伴う 遺伝性びまん性白質脳症
	オクシピタル・ホーン症候群		原発性免疫不全症候群		神経線維腫症
	オスラー病		原発性免疫不全症候群		神経フェリチン症
	カーニー複合		顕微鏡の大腸炎		神経有棘赤血球症
	海馬硬化を伴う内側側頭葉てんかん		顕微鏡的多発血管炎		進行性核上性麻痺
か	潰瘍性大腸炎	こ	高IgD症候群	す	進行性家族性肝内胆汁うっ滞症
	下垂体前葉機能低下症		好酸球性消化管疾患		進行性骨化性線維異形成症
	家族性地中海熱		好酸球性多発血管炎性肉芽腫症		進行性多巣性白質脳症
	家族性低βリポタンパク血症1（ホモ接合体）		好酸球性副鼻腔炎		進行性白質脳症
	家族性良性慢性天疱瘡		抗糸球体基底膜腎炎		進行性ミオクローヌステんかん
	カナバン病		後縦靭帯骨化症		心室中隔欠損を伴う肺動脈閉鎖症
	化膿性無菌性関節炎		甲状腺ホルモン不応症		心室中隔欠損を伴わない肺動脈閉鎖症
	壊瘍性膿皮症・アクネ症候群		拘束型心筋症		スタージ・ウェーバー症候群
	歌舞伎症候群		高チロシン血症1型		スティーヴンス・ジョンソン症候群
	ガラクトース-1-リン酸ウリジル トランスフェラーゼ欠損症		高チロシン血症2型		スミス・マガニス症候群
	カルニチン回路異常症		高チロシン血症3型		スモン
			後天性赤芽球癆		脆弱X症候群

せ	脆弱X症候群関連疾患	て	天疱瘡	い	ファンコニ貧血	
	成人スチル病	と	禿頭と変形性脊椎症を伴う 常染色体劣性白質脳症		封入体筋炎	
	成長ホルモン分泌亢進症		特発性拡張型心筋症		フェニルケトン尿症	
	脊髓空洞症		特発性間質性肺炎		フォンタン術後症候群	
	脊髓小脳変性症(多系統萎縮症を除く。)		特発性基底核石灰化症		複合カルボキシラーゼ欠損症	
	脊髓髄膜瘤		特発性血小板減少性紫斑病		副甲状腺機能低下症	
	脊髓性筋萎縮症		特発性血栓症 (遺伝性血栓性素因による)		副腎白質ジストロフィー	
	セピアプテリン還元酵素(SR)欠損症		特発性後天性全身性無汗症		副腎皮質刺激ホルモン不応症	
	前眼部形成異常		特発性大腿骨頭壊死症		ブラウ症候群	
	全身性エリテマトーデス		特発性多中心性キャスルマン病		ブラダー・ウィリ症候群	
	全身性強皮症		特発性門脈圧亢進症		プリオン病	
	先天異常症候群		特発性両側性感音難聴		プロピオン酸血症	
	先天性横隔膜ヘルニア		突発性難聴		PRL分泌亢進症 (高プロラクチン血症)	
	先天性核上性球麻痺		ドラベ症候群		閉塞性細気管支炎	
	先天性気管狭窄症/先天性声門下狭窄症		中條・西村症候群		β-ケトチオラーゼ欠損症	
	先天性魚鱗癬		那須・ハコラ病		バーチェット病	
	先天性筋無力症候群		軟骨無形成症		バスレムミオパチー	
	先天性グリコシルホスファチ ジルイノシトール(GPI)欠損症		難治頻回部分発作重積型急性脳炎		ヘパリン起因性血小板減少症	
	先天性三尖弁狭窄症		22q11.2欠失症候群		ヘモクロマトーシス	
	先天性腎性尿崩症		乳幼児肝巨大血管腫		ペリー症候群	
	先天性赤血球形成異常性貧血		尿素サイクル異常症		ペルーシド角膜辺縁変性症	
	先天性僧帽弁狭窄症		ヌーナン症候群		ペルオキシソーム病(副腎 白質ジストロフィーを除く。)	
	先天性大脳白質形成不全症		ネイルパテラ症候群 (爪膝蓋骨症候群)/LMX1B関連腎症		片側巨脳症	
	先天性肺静脈狭窄症		ネフロン癆		片側痙攣・片麻痺・てんかん症候群	
	先天性風疹症候群		脳クレアチン欠乏症候群		芳香族L-アミノ酸脱炭酸酵素欠損症	
	先天性副腎低形成症		脳髄黄色腫症		発作性夜間ヘモグロビン尿症	
	先天性副腎皮質酵素欠損症		脳表ヘモジテリン沈着症		ホモシスチン尿症	
	先天性ミオパチー		膿瘍性乾癬		ポルフィリン症	
先天性無痛無汗症	嚢胞性線維症		マリネスコ・シェーグレン症候群			
先天性葉酸吸収不全	パーキンソン病	マルファン症候群				
前頭側頭葉変性症	バーシャー病	慢性炎症性脱髄性多発神経炎 /多巣性運動ニューロパチー				
そ	早期ミオクロニー脳症	肺静脈閉塞症/肺毛細血管腫症	ま	慢性血栓性肺高血圧症		
	総動脈幹遺残症	肺動脈性肺高血圧症		慢性再発性多発性骨髄炎		
	総排泄腔遺残	肺胞蛋白症 (自己免疫性又は先天性)		慢性膀胱炎		
	総排泄腔外反症	肺胞低換気症候群		慢性特発性偽性腸閉塞症		
	ソトス症候群	ハッチンソン・ギルフォード症候群		ミオクロニー欠神てんかん		
た	ダイヤモンド・ブラックファン貧血	バッド・キアリ症候群	み	ミオクロニー脱力発作を伴うてんかん		
	第14番染色体父親性ダイソミー症候群	ハンチントン病		ミトコンドリア病		
	大脳皮質基底核変性症	汎発性特発性骨増殖症		む	無虹彩症	
	大理石骨病	PCDH19関連症候群			無脾症候群	
	ダウン症候群	非ケト-シス型高グリシン血症		め	無βリボタンパク血症	
	高動脈炎	肥厚性皮膚骨膜炎			メーブルシロップ尿症	
	多系統萎縮症	非ジストロフィー性ミオトニー症候群		も	メチルグルタコン酸尿症	
	タナトフォリック骨異形成症	皮質下梗塞と白質脳症を伴う 常染色体優性脳動脈症			メチルマロン酸血症	
	多発血管炎性肉芽腫症	肥大型心筋症		や	メビウス症候群	
	多発性硬化症/視神経脊髄炎	左肺動脈右肺動脈起始症			メンケス病	
	多発性軟骨性外骨腫症	ビタミンD依存性くる病/骨軟化症		ゆ	網膜色素変性症	
	多発性嚢胞腎	ビタミンD抵抗性くる病/骨軟化症			モワット・ウイルソン症候群	
	多脾症候群	ピッカースタッフ脳幹脳炎		ら	薬剤性過敏症候群	
	タンジール病	非典型溶血性尿毒症症候群			ヤング・シンブソン症候群	
	単心室症	非特異性多発性小腸潰瘍症		り	優性遺伝形式をとる遺伝性難聴	
	弾性線維性仮性黄色腫	皮膚筋炎/多発性筋炎			遊走性焦点発作を伴う乳児てんかん	
	短腸症候群	びまん性汎細気管支炎		よ	4p欠失症候群	
	胆道閉鎖症	肥満低換気症候群			ライソゾーム病	
	ち	遅発性内リンパ水腫		表皮水疱症	ら	ラズムッセン脳炎
		チャーシ症候群		ヒルシュスブルング病 (全結腸型又は小腸型)		ランゲルハンス細胞組織球症
中隔視神経形成異常症/ ドモルシア症候群		ファイファー症候群	ランドウ・クレフナー症候群			
中毒性表皮壊死症		ファロー四徴症	リジン尿性蛋白不耐症			
腸管神経節細胞減少症			両側性小耳症・外耳道閉鎖症			
て	TSH分泌亢進症		り	両大血管右室起始症		
	TNF受容体関連周期性症候群					
	低ホスファターゼ症					

り	リンパ管腫症/ゴーム病
	リンパ脈管筋腫症
る	類天疱瘡 (後天性表皮水疱症を含む。)
	ルビンシュタイン・テイビ症候群
れ	レーベル遺伝性視神経症
	レシチンコレステロールアシル トランスフェラーゼ欠損症
	劣性遺伝形式をとる遺伝性難聴
	レット症候群
	レノックス・ガストー症候群
ろ	ロスムンド・トムソン症候群
	肋骨異常を伴う先天性側弯症

※自己免疫性後天性凝固第Ⅹ因子欠乏症は、自己免疫性後天性凝固因子欠乏症に統合

経過的に対象となっている疾病について

以下の疾病については、障害者総合支援法の対象外となりましたが、対象外となる前日までにすでに障害福祉サービス等(※)の支給決定等を受けたことがある方は引き続き利用可能です。

※障害福祉サービス・相談支援・補装具及び地域生活支援事業(障害児の場合は、障害児通所支援と障害児入所支援も含む)

①平成27年1月1日以降に対象外になった疾病

疾病名	
劇症肝炎	重症急性膵炎

②平成27年7月1日以降に対象外になった疾病

疾病名		
肝外門脈閉塞症	硬化性萎縮性苔癬	TSH受容体異常症
肝内結石症	好酸球性筋膜炎	突発性血栓症
偽性低アルドステロン症	視神経症	フィッシャー症候群
ギラン・バレー症候群	神経性過食症	メニエール病
グルココルチコイド抵抗症	神経性食欲不振症	
原発性アルドステロン症	先天性QT延長症候群	

③令和元年7月1日以降に対象外になった疾病

疾病名
正常圧水頭症